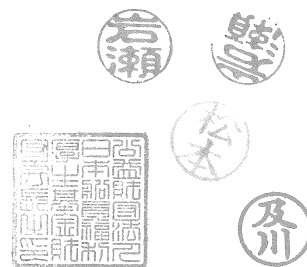


公益財団法人 日本船員福利厚生基金財団
第37回臨時評議員会議事録



1. 開催日時 令和7年3月26日（水）11時～11時40分
2. 開催場所 ホテルマリナースコート東京 4階 橋の間
3. 出席者 評議員総数8名、出席評議員6名
松本冬樹評議員、真治正章評議員、森岡聡評議員、岩瀬恵一郎評議員、
木村友紀評議員、及川孝敏評議員
出席理事1名（常務理事：鈴木順三）、出席監事1名（道山弘信）

4. 議長 及川孝敏評議員

5. 報告事項

- (1) 報告事項第1号 第36回臨時評議員会議事録確認について
- (2) 報告事項第2号 第12期第3回職務執行状況報告について

6. 審議事項

- (1) 第1号議案 第12期（令和6年度）補正予算（案）について
- (2) 第2号議案 （公社）日本海員掖済会 小樽掖済会病院の医療機器整備事業について
- (3) 第3号議案 第13期（令和7年度）事業計画（案）について
- (4) 第4号議案 第13期（令和7年度）収支予算書（案）について

7. 議事の経過の要領及びその結果

定刻常務理事が議長席に着き開会を宣し、定款第18条第1項の定めによる定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ確認された。

次に、常務理事より、「評議員会議事運営規則」第8条の「評議員会の議長となる者は、評議員の互選による」とされているので、議場に諮ったところ、出席した評議員の互選により及川孝敏評議員が議長に選出された。

これにより、及川孝敏評議員が議長に就任した。

続いて、議長より議事録署名人の選出を議場に諮ったところ、議長一任とする提案がなされたので、議長は、議事録署名人に松本冬樹評議員、岩瀬恵一郎評議員を指名し、全員異議なく承認され、両人も承諾した。

直ちに議案の審議に入った。

8. 報告事項

- (1) 報告事項第1号 第36回臨時評議員会議事録確認について
(1)につき、常務理事から別紙資料に基づき報告し、全員これを了承した。
- (2) 報告事項第2号 第12期第3回職務執行状況報告について
(2)につき、常務理事から別紙資料に基づき報告し、全員これを了承した。

9. 審議事項

- (1) 第1号議案 第12期（令和6年度）補正予算（案）について
(1)につき、常務理事から別紙資料に基づき、運営助成事業の宿泊助成の利用

状況が第12期の予算額を超えることから、「福利厚生施設運営助成交付に関する規程」第8条第2項に基づき、追加（補正）予算として、支払助成金を20,000,000円から28,000,000円とし、これに伴い、次期繰越金収支差額を171,586,582円から163,586,582円に変更することを提案し、全員これを了承した。

(2) 第2号議案 (公社) 日本海員救済会 小樽救済会病院の医療機器整備事業について

(2)につき、常務理事から別紙資料に基づき提案し、全員これを了承した。

(3) 第3号議案 第13期（令和7年度）事業計画（案）について

(3)につき、常務理事から別紙資料に基づき提案し、全員これを了承した。

(4) 第4号議案 第13期（令和7年度）収支予算書（案）について

(4)につき、常務理事から別紙資料に基づき、主な内容を説明した。

「運営助成事業」の「支払助成金」については、今期は1泊当たりの助成額が1,000円から500円に変更すること、対象者は船員及びその家族であったが、家族は除き、船員のみとすることが提案され、各団体と協定書を取り交わしたとの報告がされ、これに基づき収支予算を提案し、全員これを了承した。

議長は、以上をもって議事の全ての報告及び審議を終了した旨を述べ、11時40分に閉会を宣し、解散した。

10. 議事録作成者 常務理事 鈴木順三

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名人2名がこれに記名押印する。

令和7年 月 日

公益財団法人日本船員福利厚生基金財団

議 長 及川 孝敏 (印)

評 議 員 鈴木 順三 (印)

評 議 員 岩瀬 恵一郎 (印)

定款第19条（評議員会議事録）第2項の定めにより、代表理事（会長）は、この議事録を確認した。

令和7年 3 月 26 日

代表理事（会長）山崎 隆一 (印)

